

地域とともにある学校を目指して

今、学校と地域の連携・協働の必要性がよく言われています。これは地域社会のつながりや支え合いの希薄化等により、学校を核とした協働の取り組みを通じて「**学校を核とした地域づくり**」を推進するとともに、学校が抱える課題が複雑化・困難化しているため、**地域の様々な機関や団体等がネットワークを図りながら、学校、家庭及び地域が相互に協力し、地域全体で「子どもも大人も学び合い育ち合う教育体制」を構築していくことが重要である**ということなのです。

そのために学校は「**開かれた学校**」から**一歩踏み出し**、地域の人々と目標やビジョンを共有し、地域と一体となって子どもたちを育む「**地域とともにある学校**」に**転換を目指す**べきであると言われています。本校でも学校運営協議会を設置し、仕組みづくりは行いましたが、まだまだ途上であり、前段階の「**開かれた学校**」をさらに進めながら、「**地域とともにある学校**」を目指したいと思えます。

<8月には本校においてサマーセミナーが開催されました。>

2022年8月6日、7日に第8回みんなのサマーセミナーが本校において開催されました。みんなのサマーセミナー(通称:サマセミ)は「みんながセンセイ、みんなが生徒」をコンセプトに、まちの人がセンセイにも生徒になれる学校ごっこです。伝えたいことがある人は誰でもセンセイに、学びたい人なら誰でも生徒に。子どもからお年寄りまで参加できる学びのイベントです。センセイはまちのお店の人、学生さん、本物の先生など様々です。

本校の生徒も受付、案内等のボランティアとして、また朝会ではラジオ体操のリーダー役を務めてくれました。

今年は新型コロナウイルスの影響のため、様々な制限がある中での開催でしたが、それでもたくさんの人が教壇に立ち、生徒として学びに来てくれました。

2日間で220講座の授業に参加した生徒数は延べおよそ4100人! 暑い中、お越しくくださった皆様、ありがとうございました!

サマセミの様子⇒ <https://youtu.be/00TqwwERVAA>

<11月には地域の避難場所である本校において地域の地震防災訓練が実施されました>

2022年11月19日に本校において発生が危惧される南海トラフ巨大地震に備え、防災についての知識、技術を修得して、地域ぐるみの防災力を高め、災害の未然防止、減災についての取り組みが地域の方々によって行われました。





<12月には地域の親子もちつき大会に本校生徒が助っ人に行かせてもらいました>

地域の子どもたちにもちつきの楽しさ・美味しさを感じてもらうこと、地域の人たちとのふれあいを目的として開催された親子もちつき大会。主催者の方々の要望により、本校柔道部が助っ人に行きました。もちつきのつき手を務めたり、後片付けをさせていただくなどして主催者の方々から大変喜ばれました。



<毎朝、地域の方に登校中の交通整理を行ってもらっています>

本校の東門へ続く道は**毎朝の車及びバイク、自転車の交通量が大変多く**、踏切と信号の間に横断歩道があるため、**車等が横断歩道前でなかなか停止してもらえず**、本校や他校の生徒の自転車等の横断がかなり危険な状態でありました。本校の教員も毎朝、立って交通整理をしているのですが、なかなか車やバイクが横断歩道前で停止してくれずに困っていたところ、**地域の方である井上敏夫さんがオレンジのベストを着て、交通整理を行ってくれるようになり、ずいぶんと車やオートバイが横断歩道前で停止してくれるようになりました**。本校や他校の通学中の生徒はもちろんここを通る市民の方も大いに助かっています。

